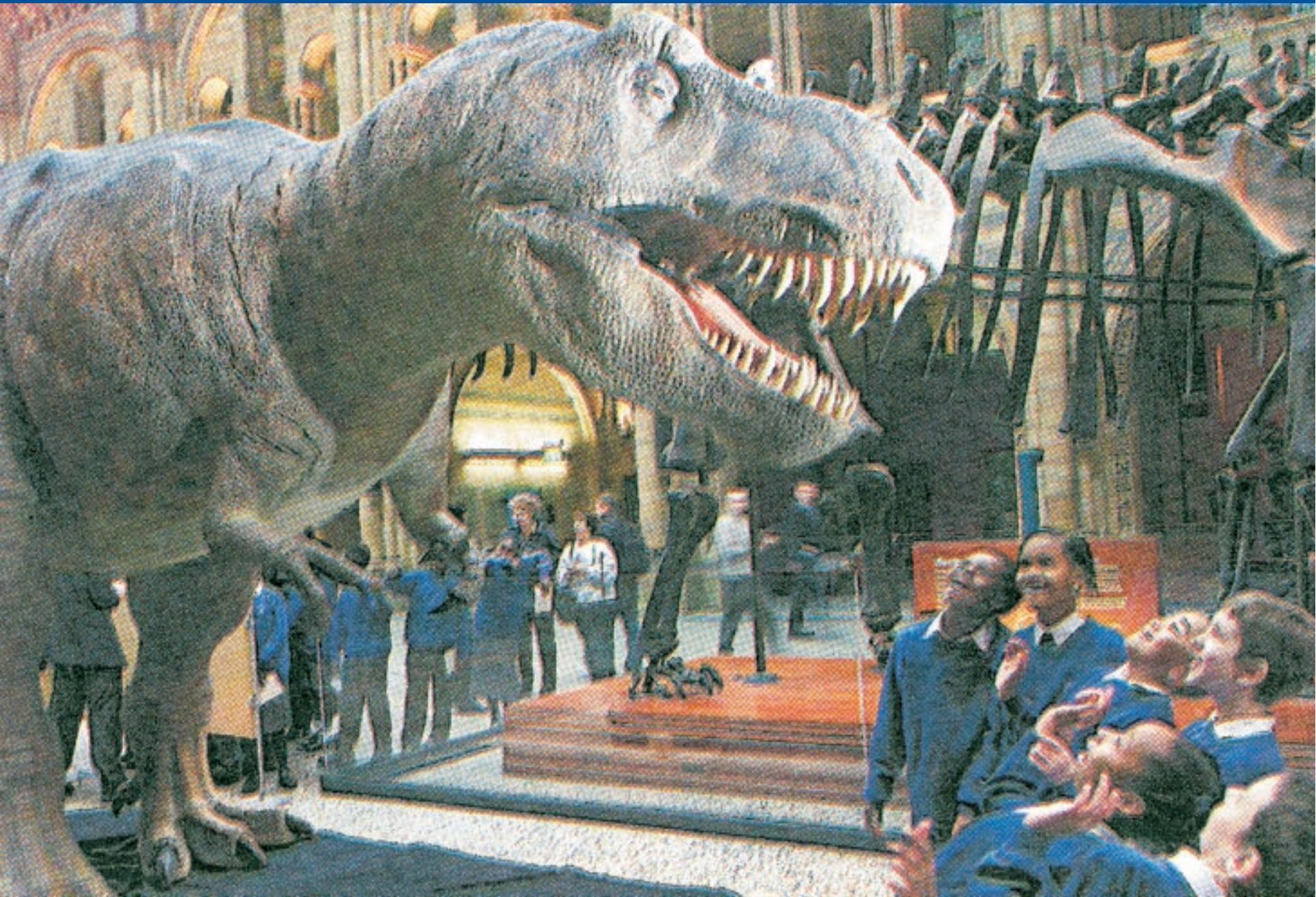


KOKORO NEWS

ココロニュース

NO 58

2001 9

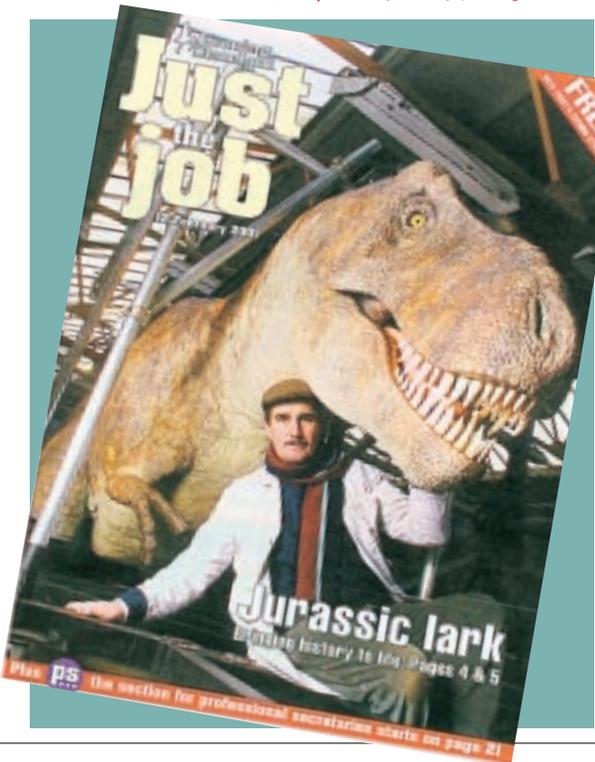


大英自然史博物館に響きわたる咆哮 臭～いティラノサウルスが超人気！

2001年2月7日、イギリス各紙の一面を巨大な恐竜が飾りました。大英自然史博物館を賑わしたこの恐竜の正体は、弊社のトップスターである動刻ティラノサウルスです。

大英自然史博物館には弊社の欧州エージェントとしてこれまでも数多くの動刻を展示させていただいています。中でもやはり人気は恐竜で、現在欧州では約100体の動刻が活躍中です。

写真のティラノサウルスは体長6.5m、当社開発のエアサーボシステムを搭載し、スケールアップした最新型の恐竜ロボットです。見上げるような巨体、パワーアップした動き。これになんと大英自然史博物館が開発した「恐竜の口臭」を加え出現した「大きくて臭いティラノサウルス」は、たくさんの恐竜ロボットを見てきた目の肥えた恐



竜ファンも納得の大迫力。そばに寄ると大きな口を開けて吠えかかり悪臭を吐き出すその豪快さは、写真でもおわかりいただけるでしょう。

大英自然史博物館では昨年エントランスホールに期間限定で展示されました。これが思いのほか好評で、次の展示会へ出展のため撤収したところ「恐竜はどこへ行ったのか？」という問い合わせが殺到。展示会を終え戻ってきたティラノサウルスは再びホールへ展示されることになりました。

「帰ってきたティラノサウルス」が報道されるや、ホールはおそろおそろ恐竜に近寄っては吠えられて悲鳴をあげ鼻をつまむ人々であふれました。それは2週間で約14万人もの観客が押し寄せ最寄りの地下鉄駅まで人だかりができるという異常事態。この騒動がまたニュースとなってマスコミを賑わしました。話題の恐竜ロボットは館内の恐竜展示室に移設され、現在も活躍中です。

ティラノサウルスを見上げる驚きと笑いにあふれた表情。子供たちの心を動かすことのできる展示。ココロはこれからも、さまざまなカタチでの「感動」をお届けするよう心がけていきます。

大英自然史博物館ホームページ <http://www.nhm.ac.uk/>
上、下/イブニングスタンダード® JUST the job®誌より

ぞくぞく登場。国内文化施設の科学展示

子どもだけど大きい！

ホールにそびえる「ブラキオサウルス」——佐久市子ども未来館（長野県）

吹きぬけ空間にそびえる高さ6 mのブラキオサウルスは、顔が2階からようやく見えるという背の高い恐竜。こんなに大きいのに、まだ子どもなんです。

佐久市子ども未来館の中心部であるフラクタルタワーエリアの中央に堂々と立っているブラキオサウルスは、見上げて顔は良く見えないほど。高さは6 m。これほど大きいのですが、まだ子どもです。

近づいて足や尾に触れることができるのも驚きですが、なんと心音が聞こえるというリアルな仕掛けが施されています。2階の通路に上がれば、鳴き声を響かせているようすを間近で見ることができます。

「未来への創造」～進化する宇宙・地球・生命～を基本テーマとして、命の素晴らしさ、大切さを実感できるよう目指した施設のなかで、その巨体が生命の偉大さを、息づかいや鼓動が命のいとなみの躍動を表現する展示として導入されました。

足に抱きつき上を見上げる子どもたちからは、直に触れ鼓動を聞く疑似体験で、言葉では伝わらないメッセージを体感的に受けとめているように感じられます。

さらに詳しい情報はこちらどうぞ

佐久市子ども未来館ホームページ

<http://www.kodomomiraikan.city.saku.nagano.jp>



展示施工：株式会社トータルメディア開発研究所

リアルな動きとユニークなトーク おしゃべりティラノサウルス登場！

京都市青少年科学センター（京都府）

よみがえる肉食恐竜「ティラノサウルス」は、リアルな動きはもちろん、恐竜自身が音声による解説をおこなう、ユニークな「しゃべるティラノサウルス」として評判です。

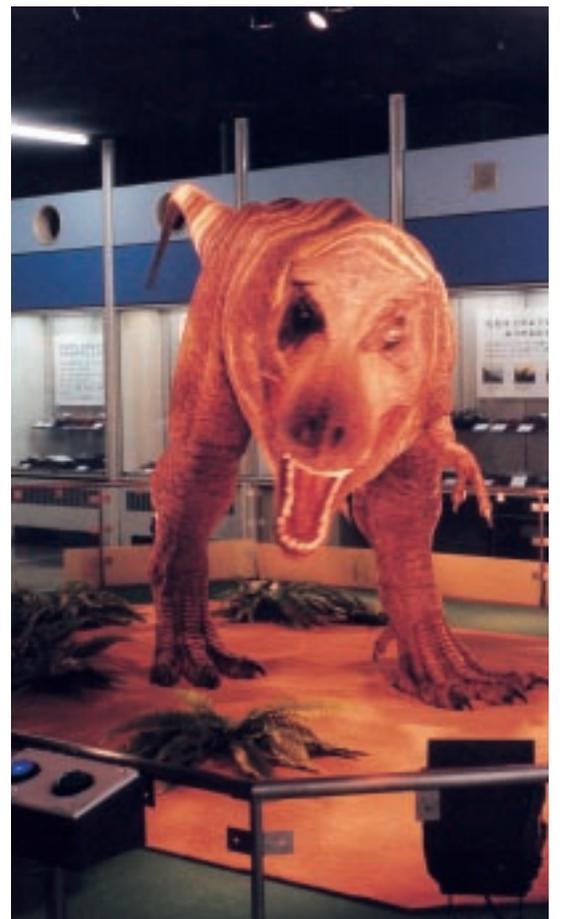
京都市青少年科学センターの第1展示室中央で活躍中のティラノサウルスは、最新機能搭載のリアル動態恐竜（動刻）です。その再現には京都大学の瀬戸口烈司教授に監修いただき、姿形、動きなど学術に基づいたわかりやすい生態復元として常設されました。

そしてこの動態恐竜にはもうひとつ、独創的な演出があります。ティラノサウルス自身が恐竜の生態についてお話をする、ということです。観客は備え付けられたボタンにより「おしゃべりバージョン」と「リアルバージョン」の2つの演出を楽しむことができます。



迫力の威嚇を体感した後は、ユーモラスなおしゃべりで恐竜の勉強ができるという、役割の広い恐竜展示となりました。

これまで多数の恐竜たちを世に送り出してきた弊社ですが、しゃべるリアル恐竜というのは意外にも初の試みです。感情表現を感じさせる繊細な動作は、細かな動きの制御ができるエアサーボシステムにより可能になりました。



さらに詳しい情報はこちらどうぞ

京都市青少年科学センターホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/kyoiku/science/>

歴史ある大地の証人「恐竜」 天地のみ恵みの雄大なモニュメント

光記念館（岐阜県）

日本の代表的な2大恐竜、大地を闊歩するカガリユウ、優雅に草を食むスギヤマリユウ。日本列島の歴史の証人として飛騨高山の大地に立ちます。

飛騨は日本最古の化石や岩石が発見されるなど、日本発祥の地域とされています。日本の歴史が凝縮されているともいえるこの地に、その歴史の証人として「カガリユウ」「スギヤマリユウ」が選ばれました。

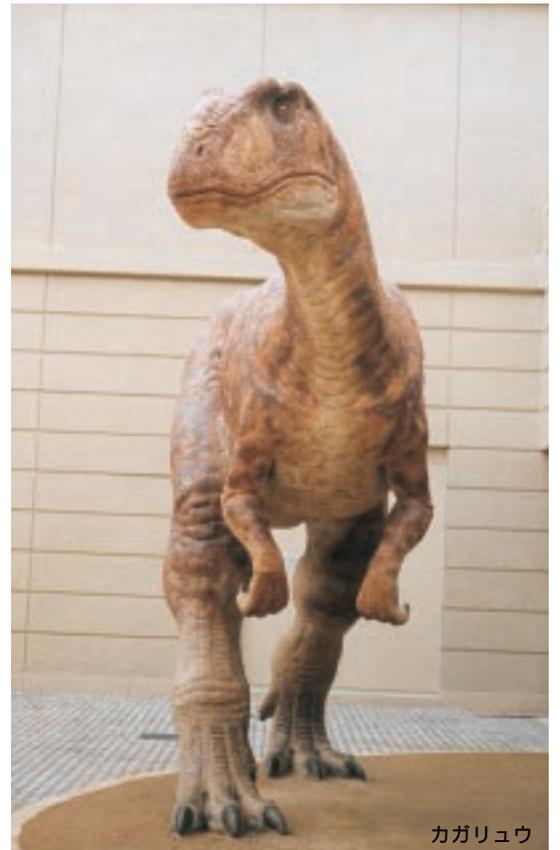
「地球は元一つ、世界は元一つ、人類は元一つ、万教の元一つ」の理念を伝える光記念館の中で、飛騨の生命の歴史を紹介するエリアの屋外展示



スギヤマリユウ

場に設置された2大恐竜像は実物大再現。雨に濡れ、日を浴びて、飛騨の自然を感じながら、大地に記された歴史を伝えています。

さらに詳しい情報はこちらへどうぞ
光記念館ホームページ
<http://www.hikarukinenkan.or.jp/>



カガリユウ

学術相談者：濱田 隆士（放送大学教授・福井県立恐竜博物館館長・東京大学名誉教授）
納入先（展示制作）：株式会社竹中工務店、株式会社 丹青社

クジラの複雑なアゴの構造をわかりやすく ミンククジラとシャチのアゴ構造模型

国立科学博物館（東京都）

ミンククジラのアゴは複雑な三次元的動きをします。クジラのアゴを実際に動かすことで、その巧妙なアゴ構造を理解しやすい展示にすることができました。

ミンククジラのアゴはその容姿に比べてひじょうにスリムでシンプルな印象をうけますが、アゴの動きは実に複雑です。開閉の途中段階では下アゴを外側へひねったり、アゴ支点が前後したりと複合的な変化をみせます。その構造を説明するのは困難ですが、ひじょうに興味深い事象であることは間違いありません。

実際にミンククジラのアゴを動かすことが何よりわかりやすく興味を感じさせることができる、というコンセプトでこの展示は誕生しました。製作スタッフは貴重なクジラのアゴ解体作業に立ち合わせていただきながら説明を受け、複雑なアゴ構造の理解と再現に努めました。



ミンククジラのアゴの動き



ミンククジラのアゴ構造模型



このミンククジラは国立科学博物館新館1階海洋生物のコーナーでご覧いただけます。比較展示として、クジラを食べるもの、シャチのアゴ構造模型も併設されています。

さらに詳しい情報はこちらへどうぞ
国立科学博物館ホームページ
<http://www.kahaku.go.jp/>



シャチのアゴ構造模型



人体型ロボット特集

ココロではこれまで数多くの人体型ロボットを製作してきました。
 そのほとんどが注文製作によるものです。
 使い勝手の良さが人気の秘訣である人体型ロボット。
 実際にどのように使われているのか、実例を挙げてご紹介します。

映像シアターの語り部たち

大画面に映像を映し出す「映像シアター」はベーシックな展示としてあらゆる施設に採り入れられています。解説の役割を担う映像にエンターテインメント性を加える役割として「人体型ロボット」の語り部がお手伝いしています。語り部は、距離を感じやすい映像と観客の間を取り持ち、観客を映像へと引きこむ役割をします。

なごやかな農夫婦が回想シーンに臨場感を加える —— 鳥取二十世紀梨記念館「鳥取二十世紀梨ものがたり劇場（鳥取県）」

昭和初期の梨農家を再現した情緒感にあふれた室内に入り、土間の座席に腰をかけて、作業を続ける農夫婦と共に鳥取の梨の歴史をたどります。ショーは正面の大スクリーンに映し出される記

録映像を中心に展開されます。常にその歴史の中心であった一軒の農家。この主である農夫婦が語る回想場面は、物語りに臨場感を与えています。納入先（展示制作）：株式会社丹青社



さらに詳しい情報はこちらへどうぞ
 鳥取二十世紀梨記念館ホームページ
<http://www.nashikinenkan.com/>

リアルジオラマの登場人物たち

特定の場面や情景を再現する展示「ジオラマ」。実物大の登場人物たちが動くことで、よりリアルな効果が得られます。見るものを引きこむ感覚、それはまさにバーチャル空間です。

味わいのある方言が耳にやさしい昔語り —— 佐渡歴史伝説館「語り部おじいちゃん・おばあちゃん（新潟県）」

囲炉裏を囲み、いつものたわいのない会話をしているのは、ほろ酔いかげんのおじいちゃんと、猫と居眠りおばあちゃん。味わい深い佐渡なまりでのんびりと昔話を聞かせます。なごみムードの老夫婦は、田舎で昔話を聞いたあの日が頭に浮かぶ、情緒たっぷりの心温まるジオラマです。

さらに詳しい情報はこちらへどうぞ
 佐渡歴史伝説館ホームページ
<http://www.3.ocn.ne.jp/~srdk/>





実在の人物を再現する

実在の人物の、在りし日の面影を再現すること。資料が乏しい時代の人物の場合、表現する手法はあまりありません。歴史の1ページを垣間見るように、あの人の、あの場面を見ることができたなら…。お客様からのご要望により、実在の人物の「そっくりさんロボット」が活躍の場を広げています。

啄木、函館時代の授業風景

哀愁テーマパーク啄木浪漫館（北海道）

明治40年、弥生尋常小学校で教鞭をとっていた石川啄木の授業風景を再現した「浪漫シアター」。観客は教室の後ろの席から授業を受けている感覚で、最も愛した町・函館と歌について語る啄木の話に耳を傾けます。若き啄木の面影を再現したロボットは、その精巧さも話題のひとつです。

さらに詳しい情報はこちらどうぞ
 啄木浪漫館ホームページ
<http://www.ajinokaihou.com/takuboku/>



印象派の巨匠、モネのアトリエ

ガーデンミュージアム比叡（京都府）

比叡山の山頂に本年4月オープンした「ガーデンミュージアム比叡」は、フランス印象派画家たちの作品をモチーフにした庭園美術館です。ガイダンスルームでは印象派の巨匠クロード・モネのアトリエを再現し、キャンパスを前に想い出を語るモネを人体型ロボットで再現しました。フラッシュバックのような映像と自動演奏ピアノの調べの中で、モネと共に印象派の画家たちへ思いを馳せる魅惑のひとつを作り上げています。

さらに詳しい情報はこちらどうぞ
 ガーデンミュージアム比叡ホームページ
<http://www.garden-museum-hiei.co.jp>



音楽とロボットのハーモニー

ショーの大切な要素である音楽。この音楽を奏でる才能をロボットに与えました。
ロボットミュージシャンたちは音楽と組み合わせたパフォーマンスで活躍しています。

水をあやつるオートマタの指揮者

河口湖 UKAI オルゴールの森美術館「時を告げるカリヨン（山梨県）」



湖畔にたたずむアンティークな館。噴水に面したテラスから制服をまとった士官の人形が登場すると、時を告げる噴水ショーが始まります。打ち鳴らされる鐘、辺りに漂う音楽、人形の指揮に合わせて踊るように吹きあがる噴水と、1時間ごと

に夢のひとつをお楽しみ頂けます。

さらに詳しい情報はこちらへどうぞ
河口湖 UKAI オルゴールの森美術館ホームページ
<http://www.fujigoko.co.jp/kawaguchiko/ukai.html>

可憐なピアニストの弾き語り

タマノイ酢工場内ショールーム(奈良県)

タマノイ酢ショールームでは、型通りになりがちな商品紹介をピアノの弾き語りを織り交ぜておしゃれに演出しています。その可憐な見かけにもかかわらず、一日何回もの演奏をこなすタフなピアニストには、女性型のロボットが採用されています。



さらに詳しい情報はこちらへどうぞ
タマノイ酢株式会社ホームページ
<http://www.tamanoi.co.jp/>

ロボット・エンターテナー

リズムカルなナレーションや巧妙な役者のパフォーマンスなど、派手で楽しい構成が注目されるショーステージ。
ロボットエンターテナー『S ドール』は芸達者なパートナーとしてお手伝いしています。

踊って歌って！ラップロボット

SIVAZ/EXPO COMM・NEC ブース

5月にモスクワで開催されたSIVAZ/EXPO COMMでは「ラップDJロボット」としてNECブースに登場。ステージ上ではリズムカルなDJトーク、クールなダンスを披露し、ユニークなロボットとして紹介されました。



あなたと声でおしゃべりしましょう

(シーエーアイ株式会社との共同提案品)

本年2月、シーエーアイ株式会社と共同発表した音声対話型ロボット「S ドール」と恐竜ロボット「アロサウルス」は、数多くのマスコミで取上げられ多数のお問い合わせを頂いています。

記者発表では「S ドール」をタキシードを着こなすホテルマン・ロボットと想定し、これにシーエーアイ社開発の音声対話システム「ボイストーク」を搭載して観客との対話を実演しました。

このボイストークは、より人間らしく表現豊かな対話システムとして、更なる開発が進められています。

さらに詳しい情報は
こちらへどうぞ
シーエーアイ株式会社
ホームページ
<http://www.cai.co.jp>



コントもおまかせ！役者ロボット

『21世紀夢の技術展 / BANYU 21世紀骨のふしぎ博物館』

昨年夏に開催された「ゆめテック」では、万有製菓ブースでのステージショーをお手伝いしました。

大型映像の前で繰り広げられるコミカルなステージでは、おとぼけ博士と助手役の人間の役者さんと競演し、しっかりものの女性型助手ロボットという役柄をこなしました。



展示施工：株式会社電通テック

海外新企画展の紹介

捕食動物の恐怖の生態を体感する

from UK

Predators

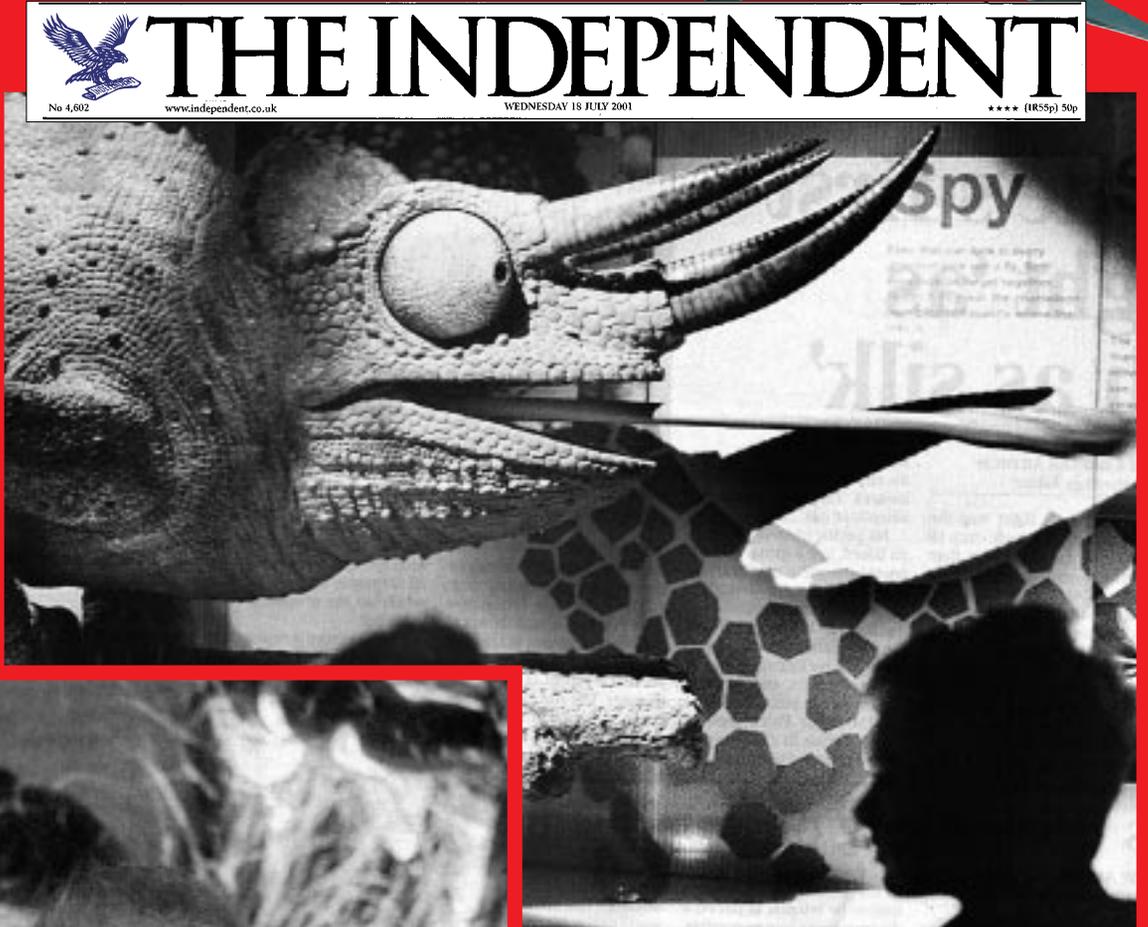
『プレディター』展

巨大クモが少女を襲う!? 生と死を賭けた動物たちの驚異の生態を体験する特別展が来年5月まで開催されています。

世界中から注目される大英自然史博物館の特別展。今年は3体の新作動刻がメイン展示となっているブロックバスター展『プレディター』が7月から開催されています。

捕食動物の驚異の攻撃、獲物たちの巧妙な防御といった内容を体験的に伝える本展のために、新作動刻には子供に人気のインタラクティブ機能を搭載しました。巣で観客を察知して威嚇アクションをする巨大クモ、目の動きを操作できる巨大カメレオン、不気味に泳ぐサメが話題の中心です。

右上 / 動刻ジャクソンカメレオン (インディペンデント誌)
右下 / 動刻シドニージョウゴグモ (インディペンデント誌)
下 / 巨大クモと少女 (タイムズ誌)



話題の「鳥型恐竜」をテーマにした最新恐竜展

DINOSAURS TAKE WING

『鳥になった恐竜たち』展

羽毛の生えたヴェロキラプトルを動刻で再現! デンバー自然史博物館ケネス・カーペンター博士による企画展。

from USA

- 恐竜は鳥の祖先である - 古生物界では常識となった学説ですが、一般にはまだなじみが薄く、まさにこれから取り上げられる新鮮なテーマです。今回登場する鳥の祖先となる恐竜たち、羽毛に覆われたその姿はセンセーショナルに映ることでしょう。

人気の恐竜を羽毛再現することで注目されている『DINOSAURS TAKE WING』は来年2月発表を前に、着々と製作が進んでいます。



羽毛に覆われた
ヴェロキラプトル



鳥のヒナのように羽毛の生えたベビーティラノサウルス



鳥のような抱卵の生態、オヴィラプトル

新商品機器紹介

**アミューズメントフロアーのニューフェイス
サンリオキャラクターマシンがあなたのお店のパワーに!**

袋詰ポップコーン
自動販売機
ハローキティの**ポンポンパック**

お待たせ致しました! 問い合わせ殺到の新方式ポップコーン自販機、袋詰のポップコーンをできたて販売する『ハローキティのポンポンパック』が展開を開始致しました。



密閉性が高い袋詰タイプは、乾燥や異物混入などストック時の障害を完全にシャットアウト。折りたたんだ袋はコンパクトで補充も簡単。お店側の管理がさらに安心・簡単になりました。

もちろんマシンもニューデザイン。大人気のハローキティでアイキャッチ効果も抜群。キュートなデザインの袋も魅力的です。アツアツの袋を開けるとおいしさが広がるポップコーンは販売促進効果も満点。安定した売上をお約束します。



**都内近郊から展開開始
遊園地の中のミニミニテーマパーク
ハローキティのおたのしみ広場**

あなたの施設のちょっとしたスペースを利用して、集客効果のある特別な場に、簡単にリニューアルしてみませんか。



西武園ゆうえんち西門アーケード通り



としまえんピーブコムナード

『ハローキティのおたのしみ広場』はサンリオキャラクターの各種アミューズメント機器をメインに、ハローキティ・オリジナルデザインのパナーやベンチがセットになっているまさにミニミニテーマパーク。遊園地などのファミリーターゲットの施設にはぴったりです。

ベンチや軽食(ポップコーン、おかし)などの休憩アイテムはファミリーの集客効果満点。さらに乗り物やゲーム機器が滞留も確保。インカム収益はバッチリです。

スペースに合わせてレイアウト致します。お問い合わせ下さい。

お問い合わせ / SR 営業課042 530 3910



株式会社 **ココロ** <http://www.kokoro-dreams.co.jp/>

〒205 8556 東京都羽村市神明台4丁目9番1号 TEL 042 530 3911(代) FAX 042 530 5310